

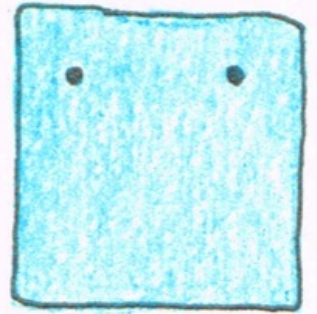
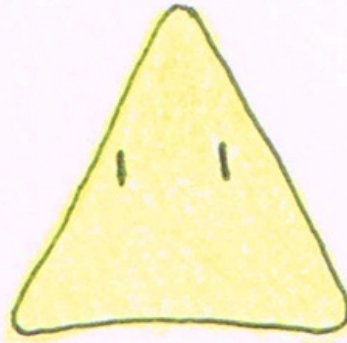
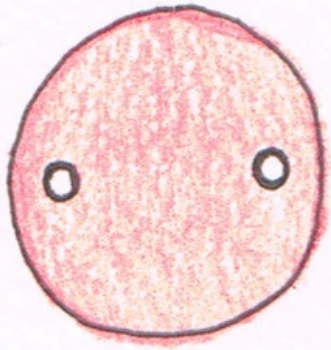
まる



さんかく



しかく



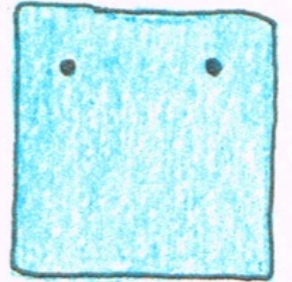
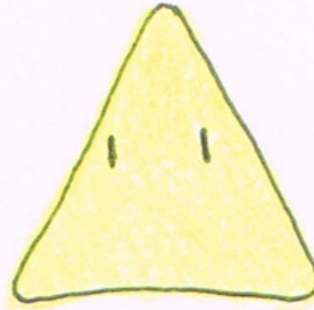
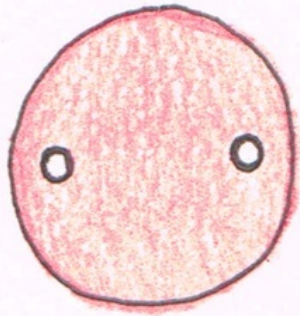
まる



きんかく



かく

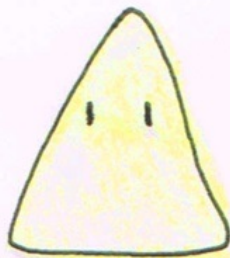


あるところに ...

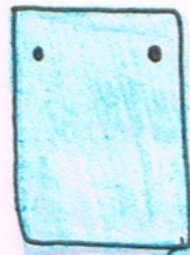
まる。



と さんかく△ と



しかく□



が あ、ま、と お話をしていました。

まる。がはじめに



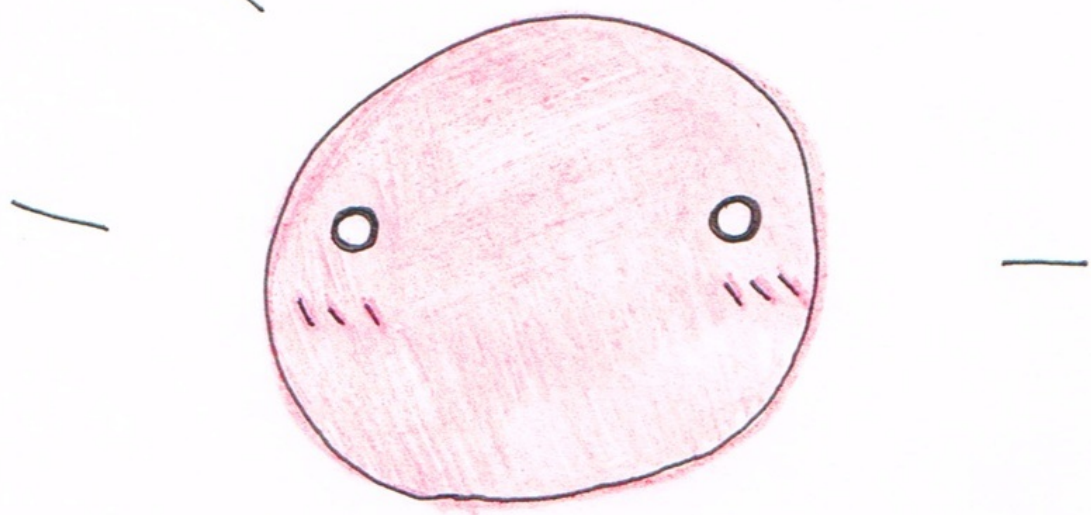
「まる、さ すごいんだよ、

どこまでもころがれ

るんだ！」

と 話 はじめました。

まる。は と、ても じまんげ"です！

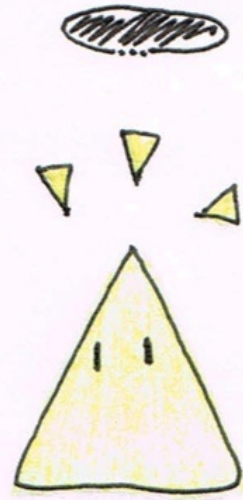


さんかく△が つぎに

「さんかくたてまけてよいよ

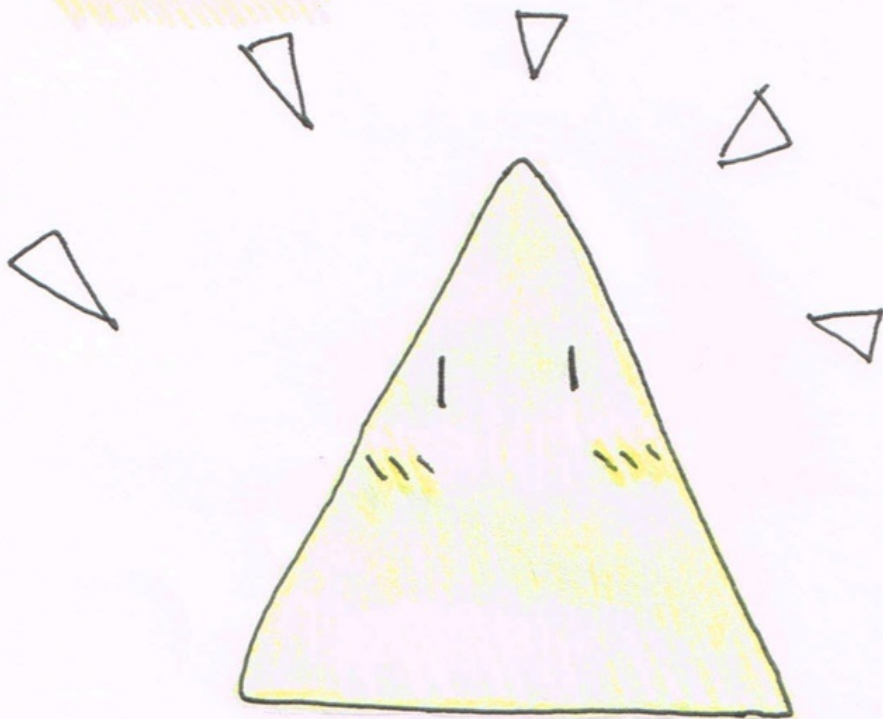
とがてる頭で

あなをあけられるんだよ」



と。

さんかく、だ、て、まけて、ません！

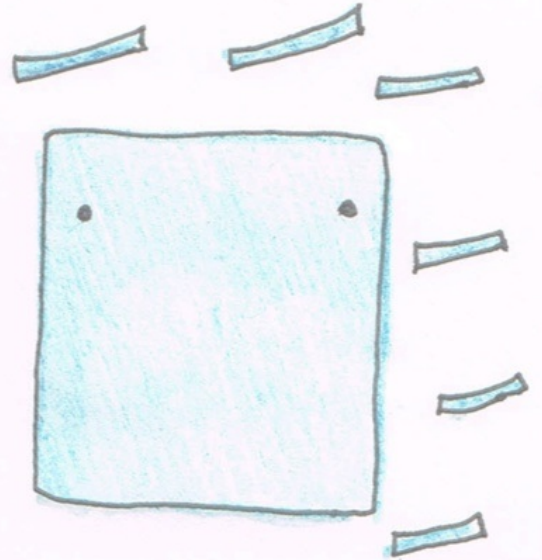


さいごに しかく が ゆっくりと

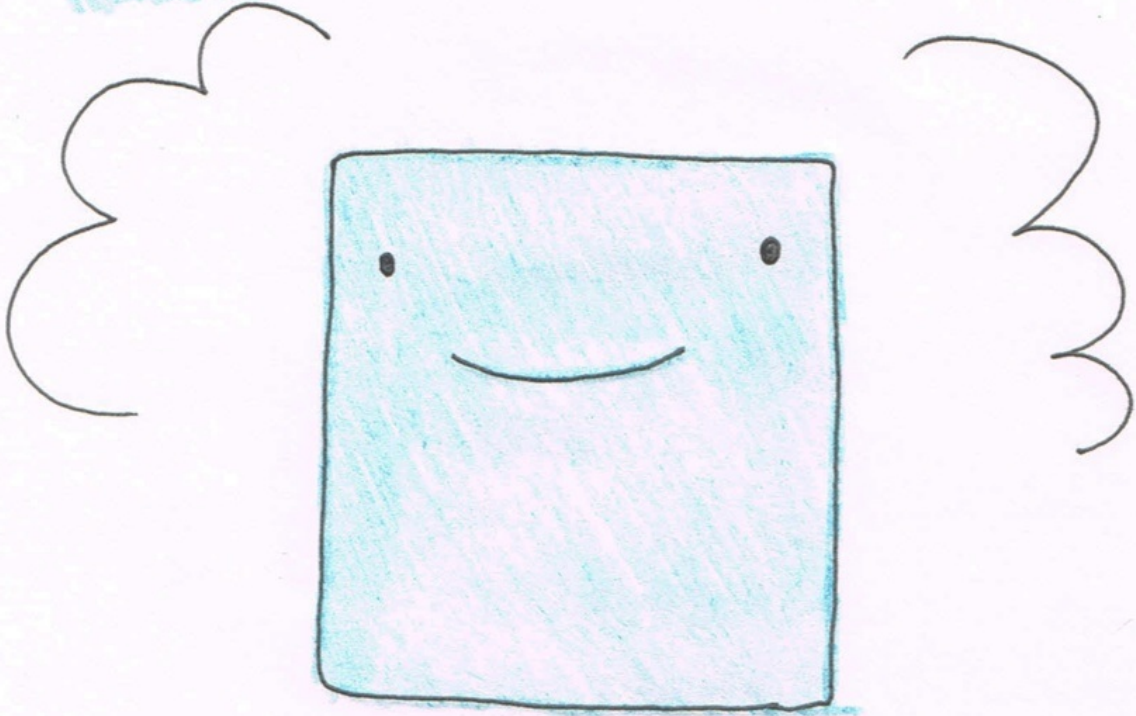
「しかく たって あざいんだ!

どんなものでも とめて

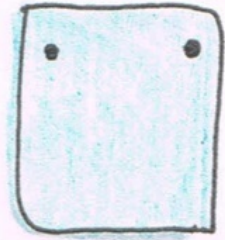
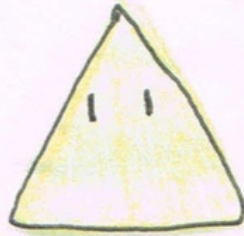
ストップ させちゃうよ」



しかく□ が ニッコリ ほほえみます。

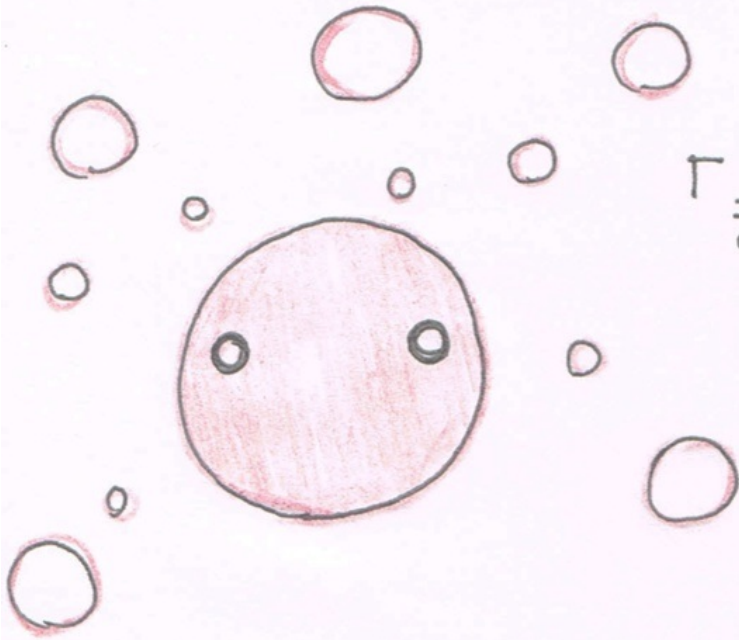


まる。も さんかく△も しかく□も



みんなも、たぐ ちがいません。

すると また まる。が 言います。



「まだまだ」あるよ、

まる。って

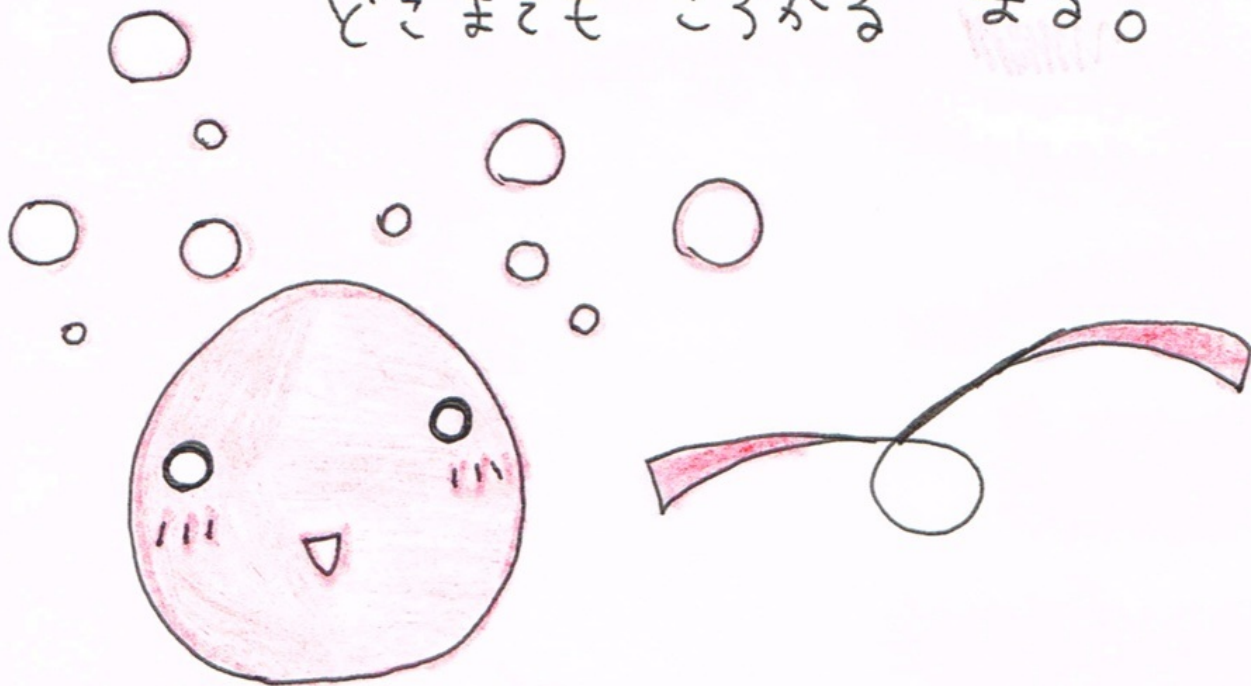
やさしいんだ

ふわふわして」

と

ふ、わ、ふ、わ、が やさしくて はちて、

どこまでも ころがる まる。



が、いちばんさ、

すると さんかく Δ も



「さんかく Δ ってお

とが、てるけど”

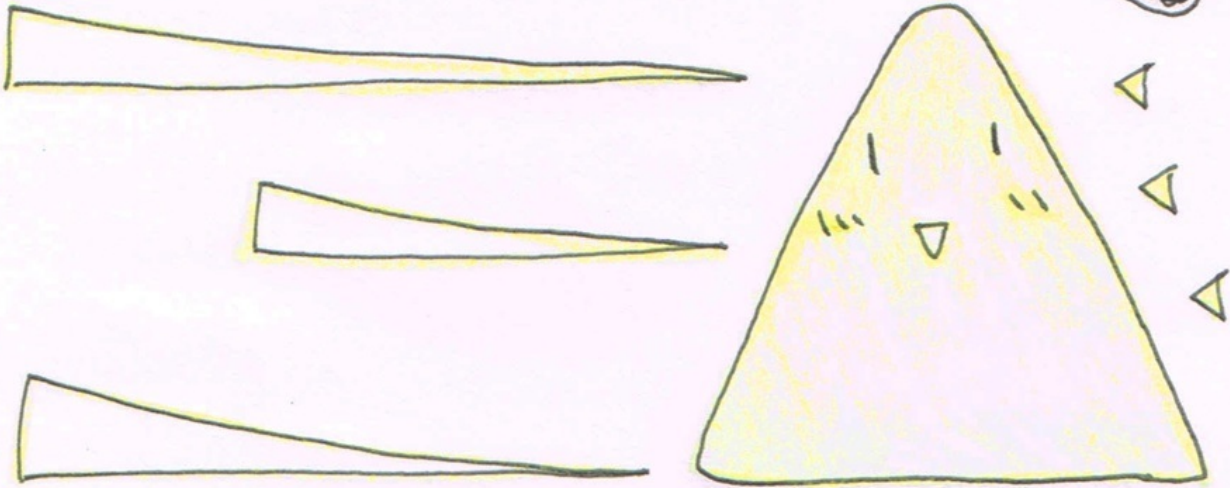
まじめで、ま、すぐ”

あるといけど”

あは、せいんだ”

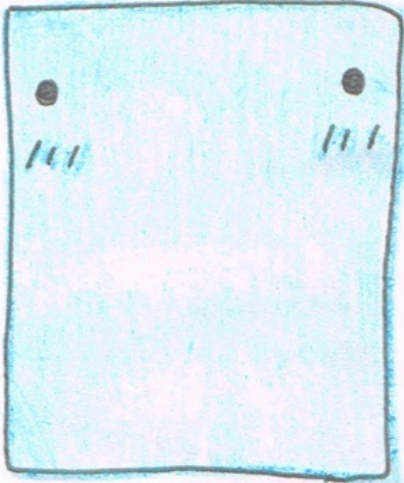
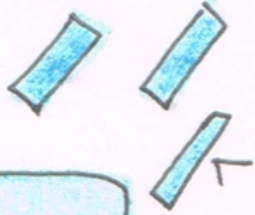
とが、てて あなが あけれて エジメッ

あまどくて あばやい さんがく △



△ △ △ これが イイとこさっ

すいごに ゆり (しかく) がいいです

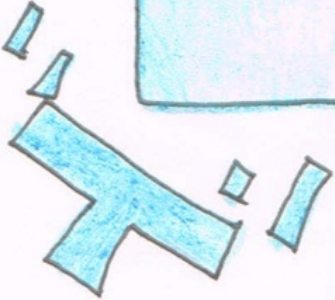


どりり ...

おもて ...

たよれて ...

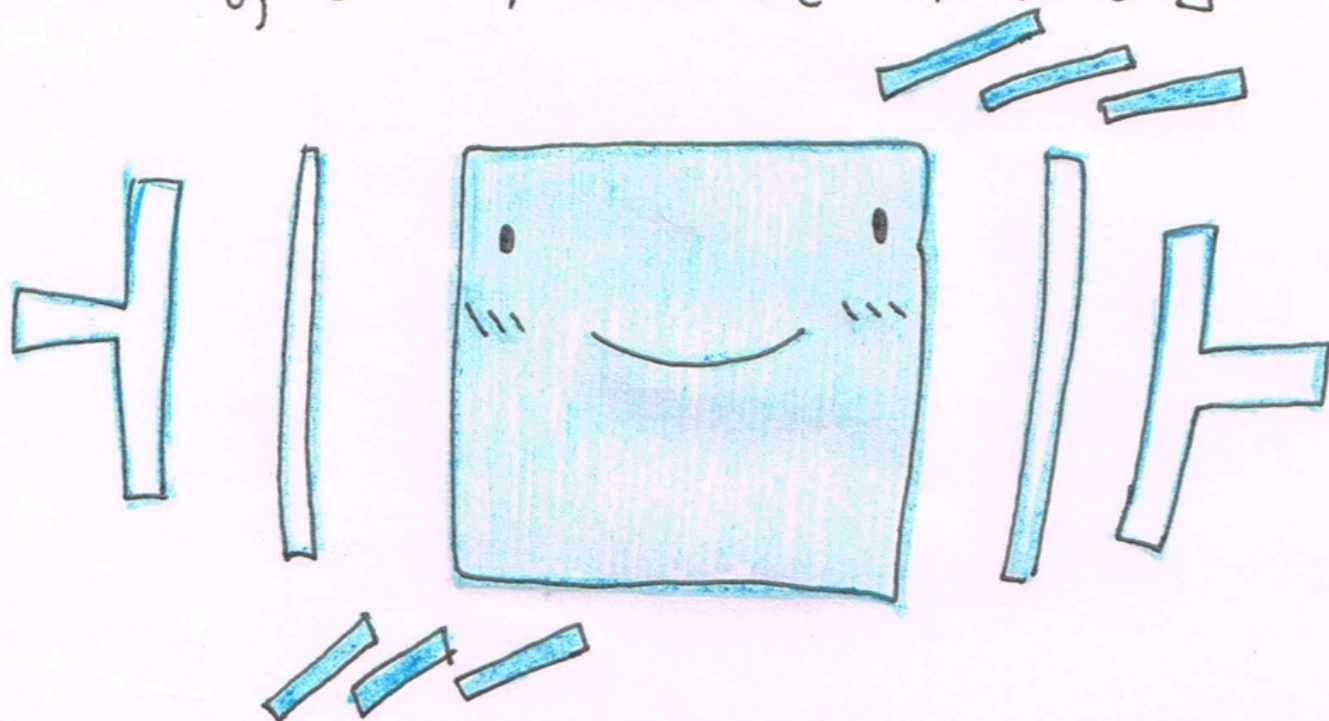
とめれる



しかくって すいごんだ

たまたま、どっさりしててうごかす

あ、もいからたまたまとめちゅう□

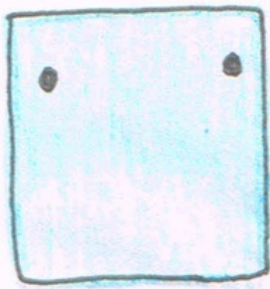


さいごのきりふだはたはりしかくさ□

まる。さんかく△ しかく□ た"木も

ゆがりません... そして、ゆがり

しかく□ か" 「まる。は いいところいっはいいあるた



しかく□ には たぬいものいっはいいだ」

あると さんかく△ も

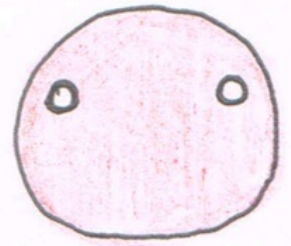


「しかく□ た"て ^{さんかく}△ には できないうことできる、

あてきなうことだらけだ"よ」

まる。が やさしく 言います。

「さんかく△って ○ まるには たいものだから
△ それって あざいことなんだ」



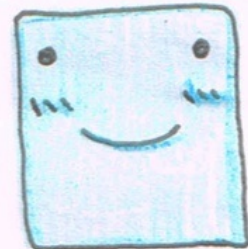
まる。

さんかく△

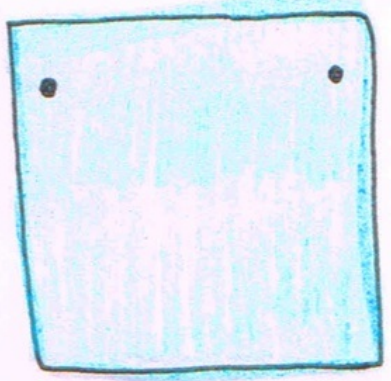
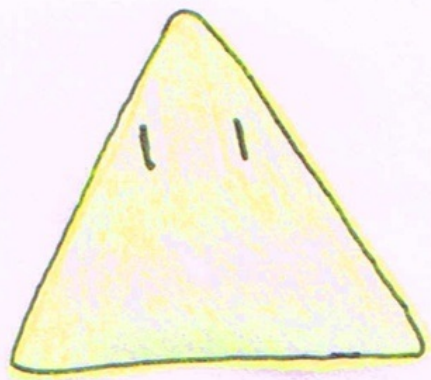
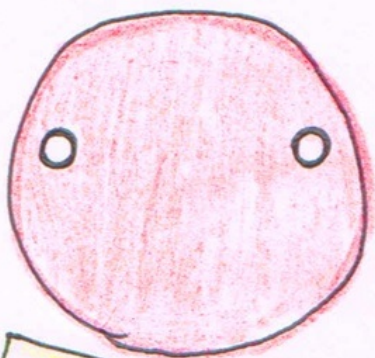
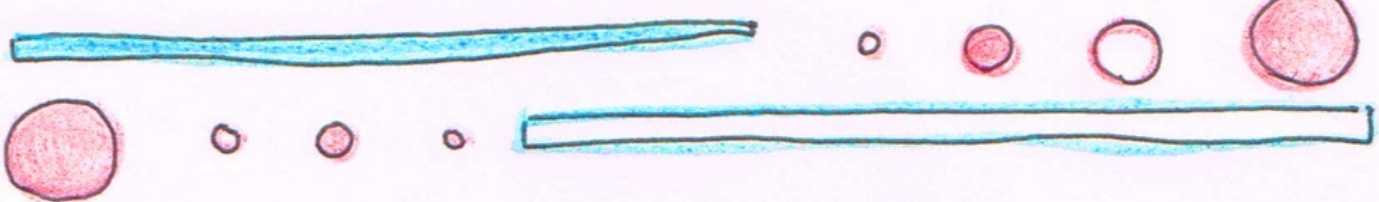
しかく□

声をそろえて 言います

「それぞれがステキで あざいんだ！」



みんたよ ちがいで みんた いい



ちがいのたい

だから それぞれ 大切 なんだね

なもの



